

問 学校給食費の助成制度の実現を
三上孝子 議員

答 子育て施策の中で総合的に判断したい

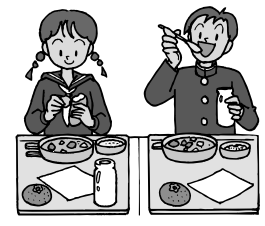
三上 子どもの貧困が目され、なぜこうした事態になっているのか。それは子育て世帯の所得が減少していることです。例えば年収300万円円台に、子育て世代の6割が生活が苦しいと答え、とりわけひとり親家庭の子どもの現状はさらに厳しい状況になっていることが関係機関の各種の統計を見ても明らかになっています。また所得が減る一方で

子どもと過ごす時間は減り、長時間労働の実態も明らかになっています。時を同じくして学校給食費の未納、全国で10万人というシヨッキングな報告もされました。お隣の兵庫県相生市では、子育て支援、市の活力維持の施策として医療や保育料の無料化、そして給食費の助成へと実施を進めています。市の活力維持のためには、一定程度の人口が必要との考えで医療費から給食費の

無料化が実施されています。私は、本市の子育て定住の有効な施策として「学校給食費の無料化」当面半額助成の実施を求めます。**教育次長** 相生市の状況は認識しているが、学校給食法の中でも保護者に一定の負担をお願いするというのもあり、現状でお願いしたいと考えている。

三上 家計の中で給食費の負担は、大きい金額であり、教育委員会としての子育て支援の有効な施策に位置づけられるのではないですか。**教育次長** 教育委員会における子育て支援としては、幼稚園の保育料の無料化や給食費を無料化した場合、それだけの費用がかかるのか、一定の試算はしている。

三上 半額の助成額であれば6000万円です。子育て世代の厳しい生活状況の支援策として市長の答弁を求めます。**市長** 子育てのしやすいまちにする施策の中で総合的に判断したい。



問 7月豪雨災害復旧工事を被災者の合意のもと早急に実現を
難波英夫 議員

答 早期復旧工事に努める

難波 有漢地域の市道拡幅工事に伴う土砂流出事故は、工事開始当時から専門職員の不足などによる計画の甘さがあったのではないかと。産業経済部長 平成16年度から盛土工事をしてきた。設計、施工管理の問題で起きた土砂流出事故ではなく、今回の豪雨による災害である。



7月の豪雨災害の現場（有漢町入地地区）

難波 土砂流出による被害を受けた水田の保証や復旧工事は被害者の合意を得て早期に完了することをお願いしたい。**総務部長** 盛土工事はコンサルタントの設計で実施した。職員も長く工事担当に携わっており、一定の能力をもって管理監督に当たっていた。

難波 再発防止を含めて市民と行政の信頼回復のため、今後さらに市民全体の奉仕者として、市民のくらしを支える公務労働に努めてほしいと思う。そのためには市長が先頭に立って憲法を行政と市民のくらし全体に生かす実践をされると共に

職員研修や適材適所の人事をされることを求める。**副市長** 土砂流出は大雨による災害で、事故ではない。不適切な事務については事務処理に当たった職員の問題があり、処分をした。今後職員の意識改革を行い、能力をもった職員の配置に努めたい。

問 やすらぎ教室について
宮田公人 議員

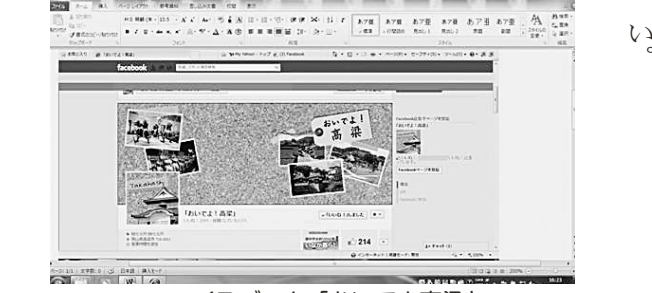
答 人員、施設について考えていきたい

不登校対策について
宮田 高梁市適応指導教室「やすらぎ教室」の指導員の増員と施設環境の改善はできないか。**教育長** 現在「やすらぎ教室」は教員免許を持つた2名の指導員を配置し、併設している教育支援ネットワーク室の指導員2名と連携をとりながら対応している。状況を見ながら人員について考えていきたい。施設についても今後考えていきたい。

川上中学校改築について
宮田 長期的に考えれば、川上中学校改築移転後の城南高校川上校地の活用問題が必ず生ずる。さらに今後の川上、備中、成羽の中学校生徒数の減少を考えれば、現在の城南高校川上校地を川上中学校として利用することが得策ではないか。**教育長** 子どもたちの安全を考えれば耐震に問題のある校舎にいつまでも生徒を置きながら、地元の方や保護者の方と時間をかけて協議することができなかった。将来、議員が指摘されるようなことが起こったとしても、できるだけ施設が無駄にならないような計画を今後考えていきたい。

宮田 SNSは情報発信において有効な手段と考えられるが、本市でも一定のルールづけのもとにfacebookを利用してはどうか。**政策統括監** 現在、正式

な市のページではないが、観光情報やイベント情報をタイムリーに掲載する「おいでよ！高梁」というページや、ヒルクライムチャレンジシリーズ実行委員会で独自のページを立ち上げ、イベントに関するさまざまな情報発信を行っている。市の情報発信として活用する場合、情報管理体制等のマイナスイメージや、また他市の状況など十分検討し、前向きにやっていきたい。



フェイスブック「おいでよ高梁」

問 駅周辺整備について
田島 肇 議員

答 バリアフリー化の必要性を念頭に進めたい

災害復旧について
田島 3年連続の豪雨により、農地の荒廃化のきざしが表われる中で、一定の要件を満たすものは復旧の対応となるが、山からの崩土など、国の災害として認められないものについては、市独自の施策として助成制度を要望する。**産業経済部長** 農地についても検討課題であるが、国の基準でお願いしたい。



農地への崩土現場（巨瀬町内）

駅周辺整備について
田島 これから予測される厳しい財政状況の中、バスターミナルも含め駅周辺にあって利便性が上がるものは整備を行うとのことであるが、図書館も含めどう考えておられるのか。**市長** 図書館については、まず



現在の高梁バスセンター

判断したい。駅周辺の開発整備という位置づけはしていない。バリアフリー化の必要性を念頭に置き、駅に必要な整備をとる考え方で進めたい。